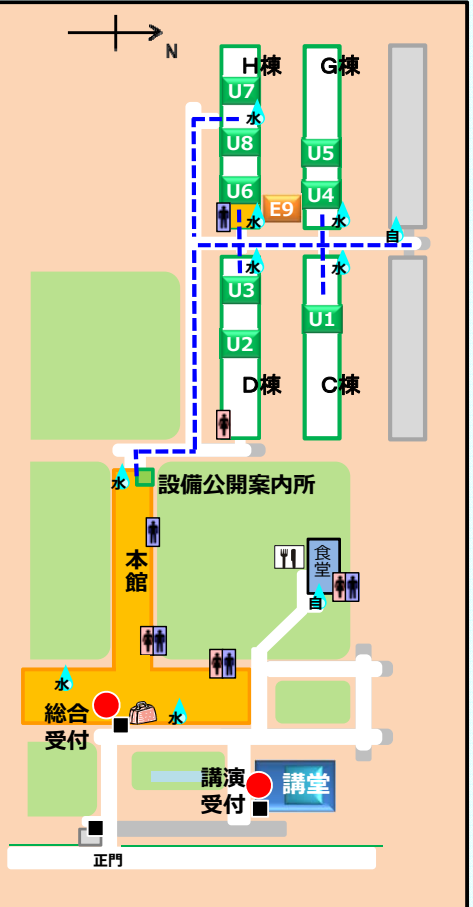


# 設備公開案内

・10:00から17:00までご自由に見学頂けます。  
 また1日数回、説明、実演等を行います。  
 下表のスケジュールをご参照ください。  
 ・設備ごとに説明あるいは案内方法が異なります  
 ので、ご了承ください。

- U1** 打ち出し式衝撃・静加圧試験機
  - U2** 線条／金具振動試験機
  - U3** 高速用集電材摩耗試験機
  - U4** PQ測定用輪軸検定装置
  - U5** 車輪レール高速接触疲労試験装置
  - U6** 小型低騒音風洞
  - U7** 大型トンネル覆工模型実験装置
  - U8** 中型振動台試験装置
  - E9** 鉄道車両用非接触給電システム（展示）
- ..... 設備公開移動経路

- 飲食
- トイレ
- 荷物一時預りロッカー
- ウォーターサーバー
- 自動販売機
- アンケート



## 設備公開 スケジュール

設備名	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
U1 打ち出し式衝撃・静加圧試験機		→	→	→	→	→	→
U2 線条／金具振動試験機		→	→	→	→	→	→
U3 高速用集電材摩耗試験機		→	→	→	→	→	→
U4 PQ測定用輪軸検定装置		→	→	→	→	→	→
U5 車輪レール高速接触疲労試験装置	→	→	→	→	→	→	→
U6 小型低騒音風洞	→	→	→	→	→	→	→
U7 大型トンネル覆工模型実験装置		→	→	→	→	→	→
U8 中型振動台試験装置		→	→	→	→	→	→

←→ 担当者による説明時間帯 ※10:00から17:00までご自由に見学できます

# 鉄道総研技術フォーラム2018 東京開催

## 鉄道業務に役立つICTソリューション

## 全体スケジュール

時	成果展示		講演	設備公開
	成果展示	ミニプレゼン		
9	9:30			
10	成果展示		10:30 専門講演	設備公開
11			11:30	
12		12:00 ミニプレゼン		
13		13:30		
14		14:30 テーマ講演		
15			16:20	
16				
17	17:00			17:00

## 講演案内

専門講演	講堂	テーマ講演	講堂
9月6日(木)		9月6日(木)、7日(金) 両日とも	
10:30~10:50	気象災害に対する鉄道システムの耐力向上 地盤防災研究室 室長 布川 修	14:30~14:35	開催のあいさつ 理事 芦谷 公稔
11:10~11:30	電力設備のトラブル防止に向けた新技術 電力技術研究部 部長 池田 充	14:35~15:05	ICT導入に向けた鉄道総研の取り組み 研究開発推進部 次長 平栗 滋人
9月7日(金)		15:05~15:25 鉄道におけるICT活用のための基盤技術 ネットワーク・通信研究室 室長 中村 一城	
10:30~10:50	軌道の維持・管理の自動化技術 軌道管理研究室 室長 三和 雅史	15:25~15:40	休憩
11:10~11:30	鉄道従事者および利用者支援のための人間科学 人間工学研究室 室長 水上 直樹	15:40~16:00	自動運転の高機能化を目指したICTの活用 信号システム研究室 室長 寺田 夏樹
		16:00~16:20	鉄道設備のメンテナンスへのICTの応用 構造物技術研究部 部長 神田 政幸

**【事前申込み済の方】**  
 事前申込みがお済みの方は、ネックストラップをご着用のうえ、講演会場（講堂）にお入りください。  
**【当日申込みの方】**  
 講演の10分前から受付を開始しますので、講演会場（講堂）にてお手続きください。講演件名毎にお手続きが必要となります。  
 なお、所定の席数に達した場合は、お断りする場合がございます。予めご了承ください。

A メインテマゾーン

- A01 電車線非接触測定装置
A02 台車状態監視モジュール
A03 振動による車両機器の状態監視
A04 地方交通線向け列車制御システム
A05 慣性センサと速発を併用した車上位置検知・列車完全性管理
A06 90GHz帯ミリ波の鉄道環境での活用
A07 降雨予測値を用いた短時間強雨に対する減災システム
A08 気象災害ハザードマッピングシステム
A09 鉄道用地震情報公開システム
A10 緊急地震速報配信サービス [ANET]
A11 画像を活用した全般検査の効率化技術
A12 鉄道橋健全度の遠隔非接触評価手法
A13 鉄筋腐食によるRC構造物の劣化予測ツール
A14 無線センサによるトンネルモニタリングシステム
A15 深層学習と画像解析を用いたトンネルひび割れ検出
A16 トンネルスキャナ／構造物検査診断支援ツール [JRSI]
A17 新幹線車両による地上設備データ収集システム
A18 M2Mクラウド連携型Wi-SUNセンサーネットワークによる設備状態監視システム [アイ・エス・ピー]
A19 慣性正交軌道検測装置とデータ管理システム (LABOCS)
A20 線路周辺環境のリスクセンシングシステム
A21 生理指標による運転状態モニタリング

B 運輸・営業ゾーン

- B01 運転曲線作成システムSPEEDYの運転時隔算定機能
B02 無線式列車制御用通信・運行シミュレータ
B03 幹線鉄道向け駅勢圏推定手法
B04 「指差喚呼効果体感ソフト」 シムエラー 指差喚呼編 / 「ヒューマンエラー体感ソフト」 シムエラー エラー教育編 [テス]
B05 列車内における局所温熱刺激の快適性評価
B06 旅客設備の衛生評価
B07 列車とホームの隙間をまたぐ際の旅客挙動
B08 駅係員向けお客様トラブルVR教材
B09 運転シミュレータ訓練における視線データの分析

C 鉄道総研の活動紹介

- C01 鉄道を取り巻く社会・技術の動向調査
C02 鉄道総研の国際活動
C03 鉄道分野の国際規格開発への取り組み
C04 鉄道技術推進センターの活動
C05 鉄道総研の情報発信活動
C06 研友社の販売図書 [研友社]

D 構造物・地震・防災ゾーン

- D01 被災した盛土の早期復旧工法
D02 地山補強材を用いた橋台の耐震補強工法
D03 剛壁面補強土壁工法 / RRR工法適用事例 [RRR工法協会]
D04 石積壁の耐震補強対策工法 (ピンナップ®工法) [ピンナップ工法研究会]
D05 石積壁耐震補強用高耐久ネット [STKネット工法研究会]
D06 化学接着性防水シート / 薄型高靱性セメントボードを用いたコンクリート構造物補修工法 [クラレ]
D07 衝撃振動試験 IMPACTIV [長野計器]
D08 SENTAN/バイル工法 - 先端強化型場所打ち杭工法 - [SENTAN/バイル工法協会]
D09 低空頭・狭陰部での場所打ち杭 - BCH工法 - / 低空頭・狭陰部での場所打ち杭 - ストランド場所打ち杭 - (工場組立縮小・現場伸展方式) [鹿島建設]
D10 トンネルの補修・補強工法
D11 既設トンネル覆工の剥落防止 タフネスコート/トンネル覆工背面の空洞充填 アクアグラウト工法 [清水建設]
D12 地山改良型ロックボルト PaCC (パック) ボルト/既設トンネル補強用摩擦式ボルト セイバー-EXロックボルト [ケー・エフ・シー]
D13 鉄道構造物の耐震設計プログラム VePPシリーズ / JR-SNAP
D14 リベット桁支座部の疲労き裂に対する補強工法
D15 センシング技術による土木構造物の維持管理 [JRSE]
D16 橋脚天端の微動計測による固有振動数同定手法
D17 散水試験によるコンクリート品質の可視化技術
D18 鉄道コンクリート高架橋のリニューアル工法
D19 アーチサポート工法による高架橋の梁補強 / CB/パネル工法による高架橋の柱補強 [東急建設]
D20 即時性と推定精度を向上させた早期検知用地震計
D21 薬液注入による新しい液状化対策工法～脈状地盤改良工法～
D22 脈状注入工法による地盤液状化対策 [ライト工業]

D 構造物・地震・防災ゾーン

- D23 危機耐性を向上させる自重補償構造と倒壊方向制御構造
D24 突風等による強風箇所の検知アルゴリズム
D25 地盤振動の事前評価技術

E 電気ゾーン

- E01 可変リアクトルによる直流き電電圧制御
E02 交流き電回路地絡時のレール電位予測
E03 有線通信設備の電氣的障害の影響予測手法
E04 耐震設計における門形支持物の線路方向の振動特性
E05 耐食性電車線支持装置
E06 速度300km/h超に対応した高速シンプル架線
E07 バンタグラフの揚力推定手法
E08 HILSによるバンタグラフの性能評価手法
E09 鉄道車両用非接触給電システム <G棟/H棟間で展示>
E10 超電導き電ケーブル
E11 超電導材料の製作・評価
E12 超電導材料を使った応用機器
E13 超電導磁気軸受を用いたフライホイール蓄電
E14 鉄道用電力変換システム技術 [東洋電機製造]
E15 超電導フライホイールを支える真空および組立技術 [ミラロ]
E16 超電導フライホイールを支える複合材料技術 [松井鋼材]
E17 超電導フライホイールを支える高温超電導技術 [古河電気工業]
E18 低周波MSK軌道回路装置 [京三製作所]

F 軌道ゾーン

- F01 レール頭部きず補修工法
F02 シミュレーションを用いた分岐器構造の評価法
F03 レール絶縁部に対応した脱線防止ガード
F04 レール凹凸連続測定装置
F05 S型弾性まくらぎ直結軌道
F06 細粒土混入バラストの造粒化による軌道補修方法
F07 浮きまくらぎ自動補正装置 レベルキーパー [スミタツ]
F08 ラダー軌道 [テス]

G 車両ゾーン

- G01 車内騒音の伝搬経路・寄与度解析手法
G02 車両駆動用蓄電池の冷却ファン制御手法
G03 高温摩試験装置を用いたブレーキ摩擦材の評価手法
G04 車両電機部品の劣化調査
G05 燃料電池ハイブリッド電車の開発
G06 C/C複合材製バンタグラフすり板の低コスト化
G07 鉄道分野での圧電ゴムセンサーの提案
G08 駆動用機器の状態監視に適用可能な潤滑油分析装置
G09 鉄道試験線と台車性能評価 [三菱重工エンジニアリング]
G10 地震対策用台車部品
G11 脱線にくい台車

H 環境ゾーン

- H01 空気流シミュレータ
H02 列車速度の違いによる転覆限界風速超過確率
H03 屋根上装置の影響解析シミュレーション
H04 台車部空力音の詳細な発生部位を特定する風洞試験法
H05 沿線の構造物による音の反射を加味した騒音予測手法
H06 トンネル緩衝工の性能向上

ご来場にあたってのお願い

- 地震発生時等、緊急を要する場合は、鉄道総研の指示に従って行動して頂きますようお願い致します。
●指定された場所以外での写真等の撮影および録音は、ご遠慮ください。
●再入場について
・一時外出の際はネックストラップをお持ち頂き、再入場時にネックストラップをご着用ください。
・2日連続でご来場の際は、改めて受付が必要です。
●鉄道総研技術フォーラムでは、受動喫煙防止対策を推進するため、会場内(屋外も含む)は禁煙とさせていただきます。
※電子たばこについては喫煙場所を設けております。案内図でご確認ください。
●開催内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。
●ご不明の点がありましたら、受付にお問い合わせください。



※本館の展示会場は1階のみです。1階以外への立入りはご遠慮下さい。

喫茶利用 時間 9:30~17:00
・昼食メニューもあります
・ドリンク券が使えます

食堂利用 昼食時間 11:30~13:30
休憩時間 14:00~16:30
<昼食メニュー>
日替わり定食、カレーライス、そば・うどん、ラーメン 等

Table with columns: 時間 (Time), 展示番号 (Exhibition No.), ミニプレゼン (Mini Presentation), 件名 (Title). Lists various presentations from 12:00 to 13:25.

【お問合せ】
公益財団法人鉄道総合技術研究所 〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38
鉄道総研技術フォーラム事務局 NTT : 042-573-7380 JR : 053-7380